

◆特集 ロスジェネ世代の今は！

1982年生まれの私、いつまで働けば良いのか？

高知県 松村 真介



はじめに

私は、1982年生まれのロスジェネ世代です。家族構成は、父母共に健在で、自分は賃貸マンションで一人暮らしをしています。

2005年に県外の大学を卒業しましたが、就職難で内定が取れず、実家暮らしでアルバイトをしながら職探しをしていて、2006年の2月から高知中央郵便局の契約社員として、車での集配業務をしていました。今現在は高知東郵便局の契約社員として、車及びバイクでの集配業務をしています。

今回の特集企画への参加のきっかけは、まなぶ友の会の先輩であるTさんからのお誘いからでした。

データラメ管理者との攻防

そもそも、私がまなぶ友の会に入った経緯は、半年

に一度のスキル評価で、管理者（自分が所属しているゆうパック推進室の室長で、ゆうパック推進室の配達・集荷業務の責任者）から虚偽のスキル評価をされたことからです。

以前、『月刊まなぶ』（2014年7月号と9月号）にも投稿させてもらいましたが、半年に一度のスキル評価の結果を管理者から渡されました。そして、その場で「異議申し立てをしてもスキルアップは無い」と言われました。

その後、管理者より「審査シートに、公平に審査してって書いてあったけど、どういう意味か解らんけど公平には審査している。1ランクアップやき、いきなり全部は上がらないから」と言われました。

確認したら、内容は1ランクアップすら上がっていませんでした。「なんで上がっていないのか、営業もちゃんとやっているのに」と聞けば「年賀はがき販売をなぜ4千枚で売のをやめた？」と聞いてきたので、「年



第24回全国交流集会以の松村さん（右端）とT先輩（左から二人目）（2019年）

賀はがきの売り上げが足りていない他の人に譲りました」と言うと、管理者は、「何で年賀はがきを人に譲った。みんな、自分の生活があるがやき、他人は誰も助けたくないぞ」と、人を信用しない様に言われました。

私は、「助けてくれるか、くれないか、なんて解らんじやないですか」と言ったら、「お前が助けた人がお前を養ってくれるのか？ そんなことはないろう？」と言われました。そして、「総合的に見て指示指導ができていないから」と、曖昧な返事をしてきました。それで私は、「複数エリアにわたり新人を指導し、通区（つうく

一人が一日で郵便配達する区域）していることは評価してくれないのですか」と、聞きました。そうすると「複数エリアにできるのはわかってる。それはきちん」と評価しているからありがとう」の返事でした。さらに私が、「誰がどのエリアを通区できるのかを、把握していますか」と聞いたなら「そんな事は課長に聞いてくれ。俺は知らん」と言われました。これでどうやって、公平に審査をしているのか疑問です。

管理者は最後に「給料上がったら、営業取ってくるって言ったよな。おい？」と、睨みつけながら、言ってもいない事をさも言ったように脅し交じりに言いました。その後「何かあったら、総務部長に言ってくれ。4月には僕に代わって新しい人が来るやろうから、その人によつてはこれからの査定は変わるやろうき、どうなるかわからんけど、まあ頑張ってくれ」と半ば投げやりに打ち切られました。

後日、総務部長から、スキル評価の異議申し立てをすればスキルアップする可能性があることを聞き、管理者が嘘を言っていたことが発覚しました。そして、スキル評価の異議申し立てをしました。数日後、管理者が嘘を言ったことを謝罪。その時に、他にも嘘を言った契約社員にも説明・謝罪をするように言うと、「誰に言ったか



覚えていない、こんなに部下がいたらしようがない。それと、君のスキルが上がらないことが確定した」と言われました。

次の日、総務部長と話をしてみると、スキル評価の見直しはまだで、スキルが上がらないことが確定していないと言われ、管理者がまたまた、嘘を言っていることが判明しました。

そして私は総務部長に、自分以外にも嘘の査定をされた契約社員がいるので管理者から、その人達にも謝罪・

説明をするように言っただけのこと
を伝えました。嘘
を言われた半分か
らいの人数に謝
罪・説明がありま
した。

後日、総務部長
から正式にスキル
評価が上がらない
事が決定したと言
われました。私が
「管理者は嘘のス

キル評価をして、そのことに関しては謝罪してきましたが、スキルが上がらない事が確定したと再度新しい嘘を言ってきました。また、嘘のスキル評価をした他の契約社員は覚えていないから説明も謝罪もしない。こんな人間は全く信用できないし、次の査定でもまともな評価をするとは思えません」と言ったところ、総務部長は「上司は選べないから、自分に合う管理者とは限らないから」と返されました。その後、管理者の異動はなく、私の質問から逃げるその場限りの対応で憤りを感じていたところ、会社の先輩のTさんからまなぶ友の会に誘われました。これが、私がまなぶ友の会に入った経緯です。

事前アンケートより

・今の暮らしぶりについては、気ままな独り暮らしですが、コロナのせいで趣味のマラソン大会（高知龍馬マラソン）も中止続きになり、飲み会も自粛ムードで若干息苦しさが続く生活です。唯一、月に一回、29日に会社の仲間たちで開催している肉（29）の日という飲み会に参加していますが、この飲み会もコロナのせいで何度も中止になっています。

・最近の出来事でうれしかった事は特にないです。
・また、最近の出来事で嫌な事、怒っている事は安倍元

総理の銃撃事件です。この平和な日本で政治演説中の日中に銃撃事件が起こり、人が射殺された事がショックです。例えば、自分たちにとって好ましい政策をしていないとはいえ、暴力によってその人の政治信条や、活動を奪うことは許されることはありません。

・今後、こうなってほしいことは、一体いつまで働けばいいのか教えてほしいです。私の父も70歳を過ぎていますが働いていますし、職場にも60歳過ぎの職員が数人フルタイムで働いています。年金のシステムが度々変化して、受給年が変わるので、自らが働いてそれまで生活を維持するしかないのですが、私たち契約社員はさらに退職金もないので、それこそ力尽きるまで働き続けなければならぬのかと不安です。

会社の業務体系も、車でゆうパックの配達をしている者が徐々に、バイクでの郵便の配達もさせられる様になっていきます。また車での配達ですが、以前はゆうパックだけでしたが、今では速達郵便、レターパック、書留特定記録、ゆうパケットの配達といった様に、配達業務も増えていっています。そして、営業活動もする様にと、配達に行く会社への営業活動もあります。賃金は据え置きですが、業務内容は増え続ける一方です。

(まつむら しんすけ)



郵便配達車